産地を支える担い手の育成
就農希望者を育てる研修体制の整備と育成の取組

１　普及活動のねらい

イチゴ、ネギ、レンコンの各品目で、ＪＡ部会を主体に研修機関を立ち上げて就農希望者の育成に取り組んでいる。令和６年にイチゴとネギで研修生が各１名独立自営就農し、これに続く研修生も受け入れ中である。しかし、レンコンでは研修受入実績がないため、関係機関が連携した募集活動と実施体制の整備を進める。また、研修後に独立自営就農した者を含めた新規就農者の経営の早期安定を支援する。

２　普及活動の成果

イチゴ、ネギの研修修了生２名は、先輩農家や関係機関で構成されたサポートチームによる助言や支援を受け概ね順調に営農している。また、イチゴでは８年度に、ネギでは９年度に各１名が就農を目指し研修中である。レンコンでは、マイナビ主催の就農相談会への出展や地域の農業現場の見学会や作業体験研修、先輩農家との対話を企画して新規参入希望者の確保を進めている。さらに、新規参入者や若手農業者等を対象に簿記記帳や財務諸表の読み方、ほ場の土づくり等に関するセミナーを４回開催して、計 19 名に対して基本技術の習得を促すことができた。

３　普及活動の内容

研修生には専任農家による実践的な技術・知識の習得支援及び経営計画細部に関する打ち合わせ等をＪＡ、市等と緊密に連携して就農に対する助言や支援を行った。新規参入者や就農後数年の若手農業者を対象に、ＪＡ生産部会と連携したセミナーを開催することで、より多くの参加者を得られるよう活動した。



写真１：レンコンの作業体験研修



写真２：簿記記帳セミナー受講風景

重点課題名 普及事項名	１　海部地域の多様な担い手の確保・育成 （２）　技術・経営に関する基礎知識の習得 ３　スマート農業技術の活用による野菜産地の育成 （１）　レンコンにおける研修受入体制の整備